

## SGHライティング講座を開催しました

9月19日(木)に、長崎大学の大学教育イノベーションセンターより當山 明華(とうやま さやか)先生を講師にお招きして、SGHライティング講座を開催しました。講座では、①「論理的に考える」とは何か、②「論理的に考える」ことの重要性、③実際に「論理的に考え」てみる、という目標が据えられ、授業が展開されました。先生は、客観的に検証が可能な「事実」と、主観的な判断が入った「意見」とをきちんと区別し、しっかりとした「事実」に基づいて自分の「意見」を主張することが大切だということをとくに力説されました。また、主張をわかりやすく表現するために、「序論」→「本論」→「結論」という手順を意識した方が良いことを教えてくださったり、ワークシートで「事実」と「意見」の違いや「論理的な文章」の具体例を示してくださったりしたので、講義の内容がとてもわかりやすかったです。

その後のNタイムの授業では、講義を受講した生徒が受講していない生徒にその内容を伝える活動も行いました。受講した生徒たちは講義の内容をきちんと伝えるために悪戦苦闘していましたが、多くの生徒たちが講義の内容を理解し、広めることができているようです。

高校1年生は最終的に課題レポートを提出します。今回の講座で学んだポイントをもとに、わかりやすい「論理的な文章」を書いてくれるものと期待しています。

### 【ライティング講座の概要】

- ・ 言いたいことを伝えることが重要。
  - 「論理的」に伝えると伝わりやすいし、誤解を生みにくい!
- ・ 「論理的に」思考するには、常に「なぜ」「どうして」と考える。
- ・ 「事実」とは(當山先生のこの講義での定義)…
  - ①何かについての客観的な陳述のうち、複数の人によって独立に検証することが可能であり、その結果、真実であると考えられたもの
  - ②歴史上の出来事や自然現象、普遍的な心理。ニュースの報告、調査や研究で明らかになったもの。
- ・ 「意見」とは…
  - 主観的な判断が入ったもの推論・仮説など。
- ・ 「序論」(問題の提起・問い・論点)→「本論」(結論に至った証拠(事実)や考察(意見)を示す)→「結論」(述べてきたことの整理・最終的な主張のまとめ)の順番で書く。